

「詩画家・森田MiWの絵とことば いとしきモノ展」
の実施報告について

- 1 開催期間：2023年1月21日（土）～3月19日（日）
- 2 開催場所：町田市民文学館ことばらんど2階展示室
- 3 観覧者数：8,240人／48日間（1日平均：171.7人）
- 4 協力：buomi 楠橋紋織株式会社 ラビトンボックス 野村弘
- 5 開催報告

本展は、日頃「文学」や「本」に親しみのない人にも気軽に楽しく「ことば」に出会う機会として実施しました。

展示会場を、本展のための書き下ろし詩画集『いとしきモノ』の作品世界が体感できる空間に設え、原画と詩を間近で鑑賞できるだけでなく、作品を拡大したコーナーをすることにより、来館者自身が作品の中を巡りながら「ことば」に出会えるよう構成しました。また、会場内を撮影可能としたため来館者がSNSに投稿して情報が拡散し、新たな来館者を呼び込むことにつながりました。その結果、冬季企画展としては最も多い8,240人にご来館いただきました。関連イベントも盛況で、アーティストトークは毎回多くの方が集まり森田氏が語る創作の裏側に興味深く耳を傾けていました。

アンケートの感想からは、本展のねらいであった「共感できることば・癒されることばに出会い、それぞれにとっての「いとしきモノ」に気づく機会」となったことがうかがえました。

(1) 関連事業

実施日	タイトル	参加人数
1月29日	アーティストトーク	45人
2月25日		68人
3月19日		91人
2月11日	ワークショップ「苔石ブローチ作り」	20人
3月11日	手製本体験「詩集づくりワークショップ」	16人

1月21日～ 3月19日	想いをことばに	275枚
-----------------	---------	------

(2) 資料

- ・詩画集原画、オブジェ等 約60点
- ・アイデアスケッチ、画材等 約10点
- ・映像 4点

(3) パブリシティ

- ・森田MiW公式HP/Twitter/Instagram
- ・楠橋紋織株式会社公式Twitter
- ・うみねこ博物堂公式Twitter
- ・東京新聞
- ・雑誌「MOE」
- ・タウンニュース、ショッパー ほか

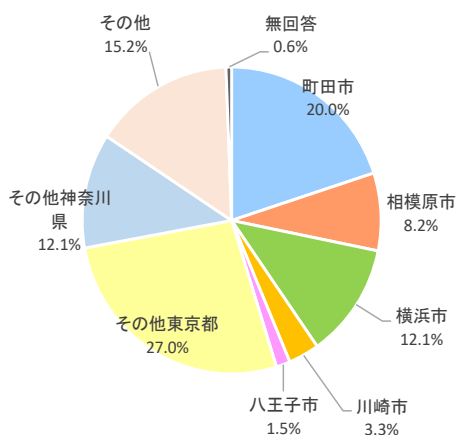
(4) 来館者アンケート

本展の特徴として、来館者のうち町田市民の割合は20%と少なく、東京、神奈川をはじめ全国からファンが足を運んでくれました。また、ブルガリアやフランス等海外からのお客様もいらっしゃいました。年代別では50代が約39%と最も多く、次いで40代、60代という結果となりました。約60%が「はじめて来館」と回答し、新規顧客の獲得につなげることができました。

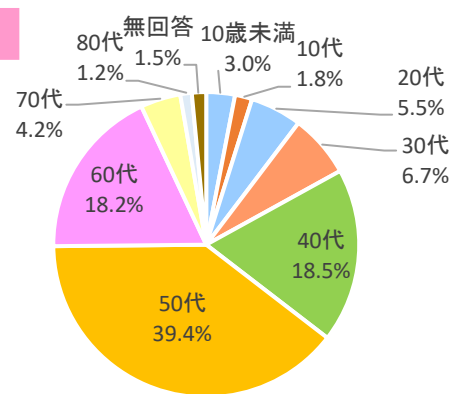
満足度調査では約99%の方から満足の評価をいただき、「不思議で素敵な絵とことばに触れて心地よいひとときでした」「じぶんのいとしきモノに想いを馳せるきっかけになりました」「静かな気持ちで作品とむきあえ、とてもよい空間でした」などの感想をいただきました。

アンケート集計より

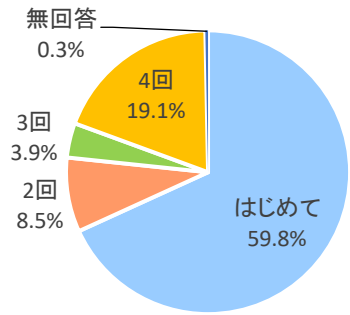
居住地



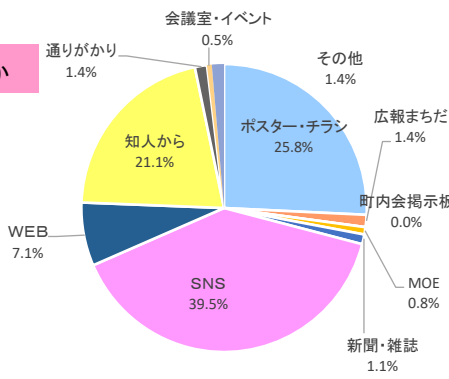
年代



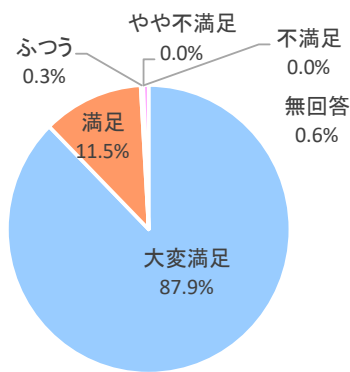
来館回数



何で知ったか



企画展の満足度



展示会場風景

